

宮城県ユニセフ協会 20周年記念「守りたい・子どもたちの命」展 4月7日(火)～10日(金)

宮城県ユニセフ協会は1995年に設立され、今年20周年を迎えます。設立20周年を記念し、多くの皆さまにユニセフの歩みをはじめ、世界の子どもの状況や支援活動の様子を写真パネルの数々でお伝えしました。東北電力グリーンプラザ・アクアホールを会場に4日間で約800人の方々にご入場いただきました。展示の写真は、「ユニセフってなあに」「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」「貧しくも、明日へ向かって生きる国：ブータン」「アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使のナイジェリアレポート」「気候変動と子どもたち～アグネス大使のブルキナファソ報告」「シリア危機」「東日本大震災報告写真」「子どもにやさしい地球を残そう」「長谷部誠選手の見た、感じた“レジリエンス”@バンダ・アチェ」など、170点の写真を展示しました。

「後藤健二さんの写真を見て、またあの事件の重さを思い出しました。彼が伝えようとしていた思いを大事に感じたいと思いました。」「戦後日本の写真を見て、絶対戦争はやってはいけない、改めてそのことを広めなければと思いました。」



2014年度 ユニセフ募金贈呈式 4月8日(水)



2014年度、メンバーの皆さまからお寄せいただいたユニセフ募金は、牛乳パック回収募金 2,368,821 円、ペットボトルキャップ

回収募金 21,729 円を含み、合計 9,513,873 円でした。世界 150 以上の国と地域でのユニセフ支援活動～子どもや女性たちの支援～に役立てられるほか、エボラ出血熱に 50 万円、東ティモール指定募金へ 420 万円を拠出しました。また、3 月に発生したバヌアツ・ハリケーン緊急募金に 50 万円の目録贈呈が、薄木芳美理事よりありました。

宮城県庁・1階ロビーでの 写真パネル展

宮城県と共催で「子どもの権利に関するパネル展」を4月27日から5月8日まで開催しています。宮城県子育て支援課から「子育て支援を進める県民運動」パネルを、ユニセフからは「長谷部誠選手の見た、感じた“レジリエンス”」「シリア危機」「子どもにやさしい地球を残そう」を展示しています。



これからのイベントのお知らせ・・・ユニセフの活動をお知らせする機会がいろいろあります

- ◆ 5/31 (日)「ユニセフのつどい 2015～地球のステージ」ライブ公演と対談 (桑山紀彦さんとマリールイズさん)
- ◆ 6/6 (土) あすと長町平和のつどい「貧困と紛争の中で生きる子どもたち」@みやぎ生協太子堂店集會室
- ◆ 6/20 (土) UNICafe～気軽なユニセフ入門講座 「1枚の看板」でわいわい @みやぎ生協文化会館ウィズ
- ◆ 7/25 (土) 夏休みユニセフ教室～親子で参加する外国コイン仕分け活動 @みやぎ生協文化会館ウィズ
- ◆ 8/22 (土) 夏休みユニセフ教室～ワークショップ「世界がもし1000人の村だったら」100人募集します



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウィズ1F

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所: 月曜日～金曜日

10:00～17:00

上記以外 080-5849-6072(五十嵐栄子)